2025 年4月

JETRO

オクラホマ州
ビジネスの魅力ガイド

State of Oklahoma

State Capitol and As Long as the Waters Flow monument, Oklahoma City, Oklahoma
州議会議事堂と「水が流れる限り」記念碑、オクラホマ州オクラホマシティ

目次
Table of Contents

はじめに 3
基本情報 4
経済
　概況 6
　主要産業 8
　企業 14
投資インセンティブ 15
高等教育／特許 16
スタートアップ 18
ライフスタイル 19

【免責事項】
当レポートは、日本貿易振興機構（ジェトロ）ヒューストン事務所が米国調査会社Washington CORE, L.L.C.の協力を得て制作しました。原則2025年4月時点で入手した情報に基づきますが、一部統計等2024年末までに判明した情報を加えています。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、当レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

はじめに
Preface

オクラホマ州の魅力

オクラホマ州は米国のほぼ中央に位置し、ニューヨーク、ロサンゼルス、マイアミ、トロント、メキシコシティといった北米の主要都市からほぼ同距離にあり、ニューメキシコ州、テキサス州、アーカンソー州、ミズーリ州、カンザス州、コロラド州の6州と接している。また、マスコギー港（Port of Muskogee）と、米国最大級で最も内陸にある不凍河川港となっているタルサ（Tulsa）のカトーサ港（Port of Catoosa）を含む4カ所の港、約140の空港、約3,850マイル（約6,196km）の鉄道網、1万2,000マイル（約1万9,312km）の高速道路網があり、各都市にアクセスしやすい。

オクラホマ州は、有利な法人税制度に加え、GDP成長率、映画・テレビ産業、風力発電、工業団地、住みやすさ、リモートワークの各分野においても全米トップ10にランクインしている。州経済は多様化しており、現在では航空宇宙・防衛や先進航空モビリティ・無人システム、アグリビジネス、自動車、バイオサイエンス、映画・音楽、情報・金融サービス、製造、再生可能・新エネルギー、従来型エネルギー、輸送・物流などが主な産業分野となっている。

ティンカー空軍基地（Tinker Air Force Base）とアメリカン航空（American Airlines）のタルサ整備・修理・オーバーホール（MRO）施設は世界最大級の航空機整備施設で、航空宇宙・防衛分野における全米のリーダーとなっている。先進航空モビリティ・無人システム分野では最先端のドローンと自律飛行技術を扱う。

映画・音楽産業の2021年から2023年までの経済効果は4億8,400万ドルに達する。

エネルギー部門の影響はい以前から大きく、従来型エネルギー生産と再生可能エネルギー生産の両方で全米で上位にランクされており、同州のエネルギー費用や生活費は、米国平均を40%下回る。

質の高い労働力と育成プログラムも充実しており、州内の企業の成長を促進するとともに、州外からの投資も惹きつけている。

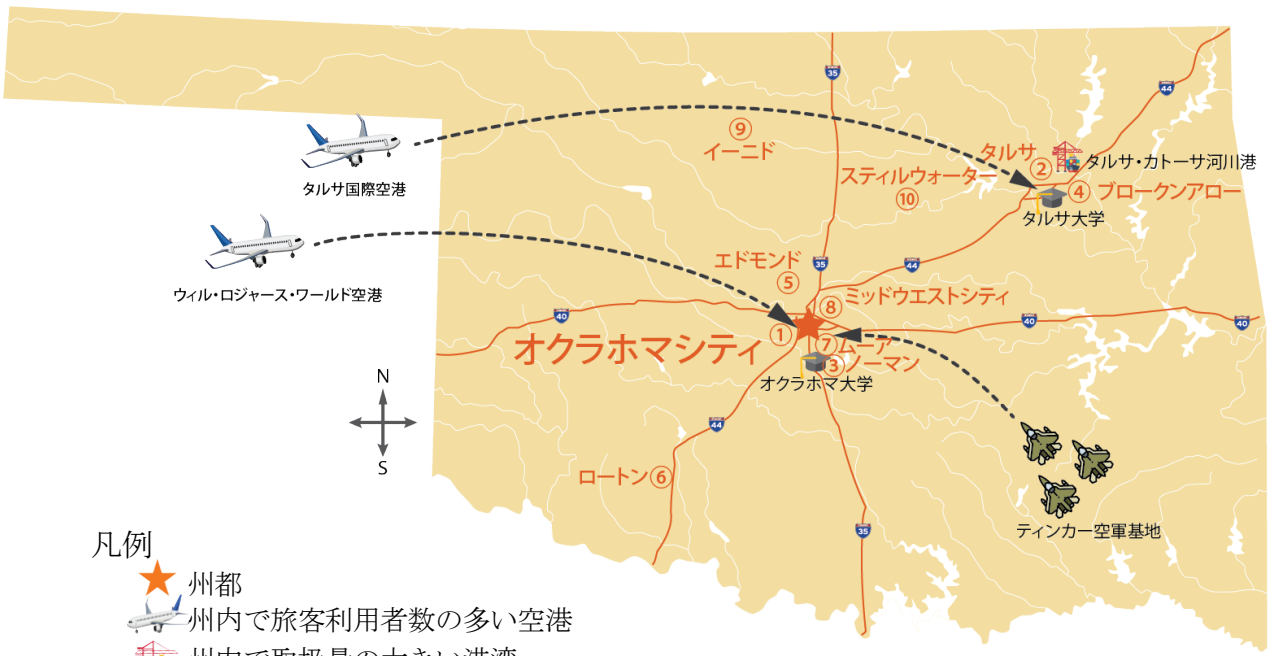
また、オクラホマシティ（Oklahoma City）やタルサのような大都市がある一方で、湖や川、州立公園などの自然にも恵まれている。物価や地価、住宅価格、家賃などが低く、交通渋滞もほとんどない。米国南西部特有の親しみ易く、常に人々を歓待する気質の住民が多いため、非常に住み心地の良い場所として知られている。

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

基本情報
Basic Information

オクラホマ州（州都：オクラホマシティ）は、米国中部に位置し、北部はコロラド州とカンザス州、東部はミズーリ州とアーカンソー州、西部はニューメキシコ州、南部はテキサス州に接している。オクラホマシティからは、人口700万人を超えるテキサス州ダラス・フォートワース・アーリントン大都市圏まで車で約3時間の近さにある。

オクラホマ州の主要都市と主な空港・港



凡例

- 州都
- 州内で旅客利用者数の多い空港
- 州内で取扱量の大きい港湾
- U.S.News & World Report2025年 - 大学ランキングでオクラホマ州の上位大学
- 米国空軍基地

①～⑩オクラホマ州人口ランキング上位10都市（米国国勢調査局：2025年）

州議会議事堂

オクラホマシティの中心街の様子

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

オクラホマ州人口（単位：人）

人口	オクラホマ州	米国全体
2020年	3,959,405	331,515,736
2024年	4,095,393	340,110,988
人口増減率（%）	3.4	2.6

米国国勢調査局 2020年4月1日時点、2024年7月1日時点の推計。以下データは同局

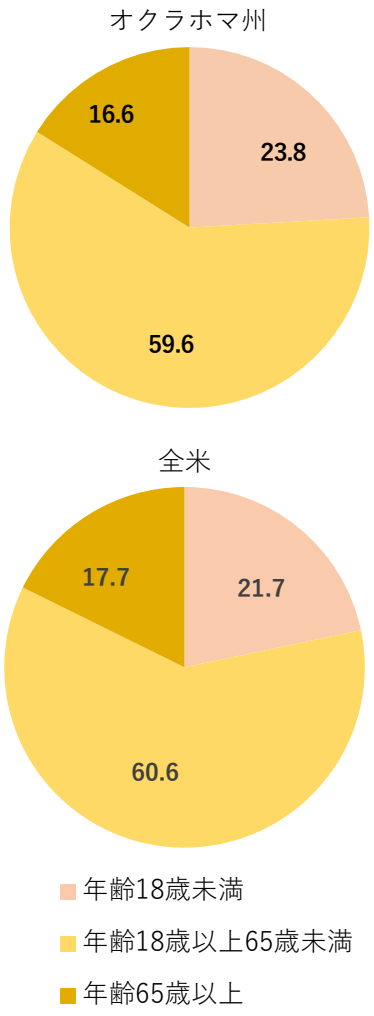
オクラホマ州と全米の人種構成（単位：%、2023年）

人種	オクラホマ州	米国全体
白人	72.9	75.3
黒人（アフリカ系アメリカ人）	7.9	13.7
アメリカ先住民とアラスカ先住民	9.5	1.3
アジア人	2.6	6.4
ハワイ先住民とその他太平洋諸島の住民	0.3	0.3
2種類以上の人種	6.8	3.1
ヒスパニック（ラテンアメリカ人）	12.9	19.5
白人（ヒスパニック（ラテンアメリカ人）以外）	62.6	58.4

オクラホマ州と全米の25歳以上に占める高卒・大卒率（調査期間：2019～23年）

	オクラホマ州	米国
25歳以上の高卒率	89.1%	89.4%
25歳以上の大卒率	27.8%	35.0%

オクラホマ州と全米の人口に占める年齢別内訳（単位：%、2023年）



オクラホマ州　知事、連邦議員

- 州知事：ケビン・スティット（Kevin Stitt 共和党）。2019年1月14日に就任。2022年11月8日の一般選挙で再選を果たし、現在2期目。現在の任期は2027年1月11日迄
- 連邦上院議員：ジェームズ・ランクフォード（James Lankford 共和党）、マークウェイン・モーリン（Markwayne Mullin 共和党）
- 連邦下院議員：定数5。いずれも共和党議員

日本―オクラホマ州関係

- 在ヒューストン日本国総領事館管轄　在タルサ日本国名誉領事 デューイ・バートレット（Dewey F. Bartlett, Jr.）
- 在留邦人数　700人（2023年10月現在　総領事館資料）
- 姉妹都市：秋田県にかほ市-ショウニー市、栃木県宇都宮市-タルサ市、京都府-オクラホマ州、京都府亀岡市-スティルウォーター市、京都府精華町-ノーマン市

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.　禁無断転載

経済－概況
Economy

オクラホマ州の経済規模（2024年）

GDP	オクラホマ州	米国全体
実質GDP（百万ドル）	212,784	23,305,023
GDP成長率（%）	2.3	2.8

2017年を基準とした実質GDP（百万ドル）
データ：米国商務省経済分析局

オクラホマ州の輸出入額（2024年）

輸出入額	オクラホマ州（百万ドル）	米国全体（百万ドル）
輸出額	7,746	2,064,517
輸入額	17,960	3,267,389

データ：米国商務省国際貿易局

オクラホマ州の世帯数と所得（調査期間：2019～23年）

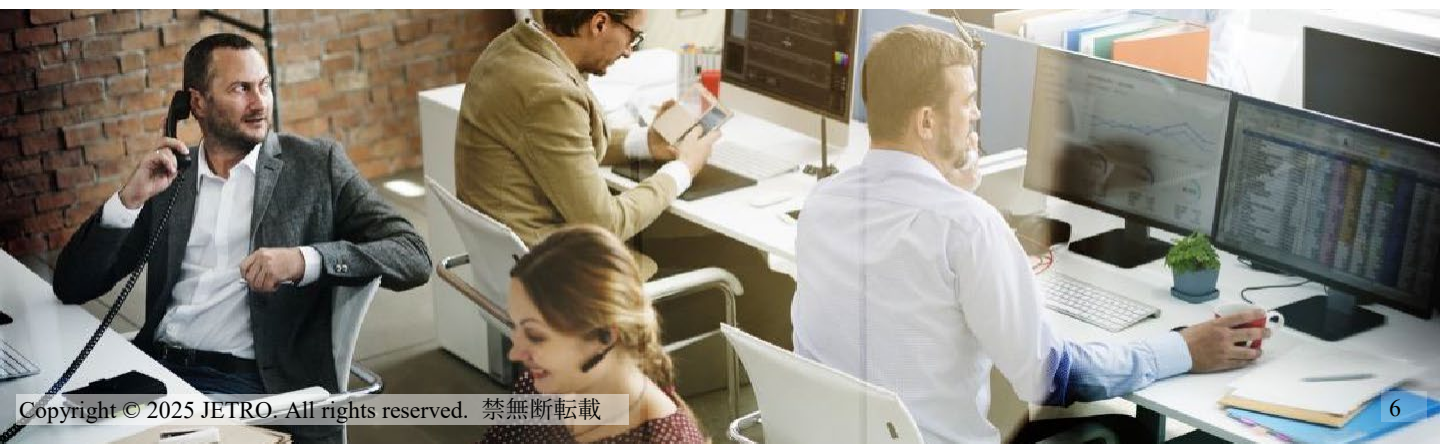
世帯・所得データ	オクラホマ州	米国全体
世帯数	1,542,780	127,482,865
平均世帯人数	2.51	2.54
世帯所得（中央値、ドル）	63,603	78,538
貧困率（%）	15.9	11.1

データ：米国国勢調査局

オクラホマ州の労働人口・失業者数

労働データ	2020年10月		2024年10月	
	オクラホマ州	米国全体	オクラホマ州	米国全体
労働人口（人）	1,872,270	160,867,000	1,998,646	168,479,000
失業者数（人）	115,176	11,061,000	66,785	6,984,000
労働人口に占める失業者の割合（%）	6.2	6.9	3.3	4.1

データ：米国労働統計局



Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

経済－概況
Economy

オクラホマ州の職業別雇用数・平均賃金（2024年5月）

職業	雇用者数（人）		平均年間賃金（ドル）	
	オクラホマ州	米国全体	オクラホマ州	米国全体
全体	1,691,930	154,187,380	54,960	67,920
マネジメント	97,820	10,966,830	111,770	141,760
ビジネス・財務	96,140	10,351,440	78,230	93,680
コンピュータ・数理	38,800	5,192,890	88,280	116,810
建築・エンジニアリング	26,710	2,567,210	95,250	103,980
自然科学、社会科学	11,330	1,446,770	77,660	89,690
コミュニティ/社会サービス	29,580	2,569,630	51,850	63,030
法務	12,020	1,273,410	99,330	137,680
教育、訓練、司書	97,070	8,947,710	50,900	65,900
アート、デザイン、エンターテインメント、スポーツ、メディア	16,520	2,098,690	56,130	77,040
医療・看護・技師	105,840	9,592,690	89,550	105,220
医療補助	65,790	7,448,010	35,270	39,650
保安警備	41,730	3,654,910	53,390	61,000
飲食業	165,960	13,613,490	28,660	36,020
土地建物清掃メンテ	49,400	4,496,150	32,610	39,540
パーソナルケアとサービス	32,750	3,159,940	32,030	39,410
販売・営業	151,800	13,351,680	43,970	54,070
事務/管理補助	216,530	18,218,070	43,880	50,160
農業、漁業、林業	3,230	442,050	40,540	41,730
建設・採掘	83,680	6,361,720	54,370	63,920
設置、保守、修理	90,170	6,045,020	57,110	61,640
生産	102,940	8,743,450	48,130	50,090
運輸・運搬	156,120	13,645,620	42,870	48,750

データ：米国労働統計局

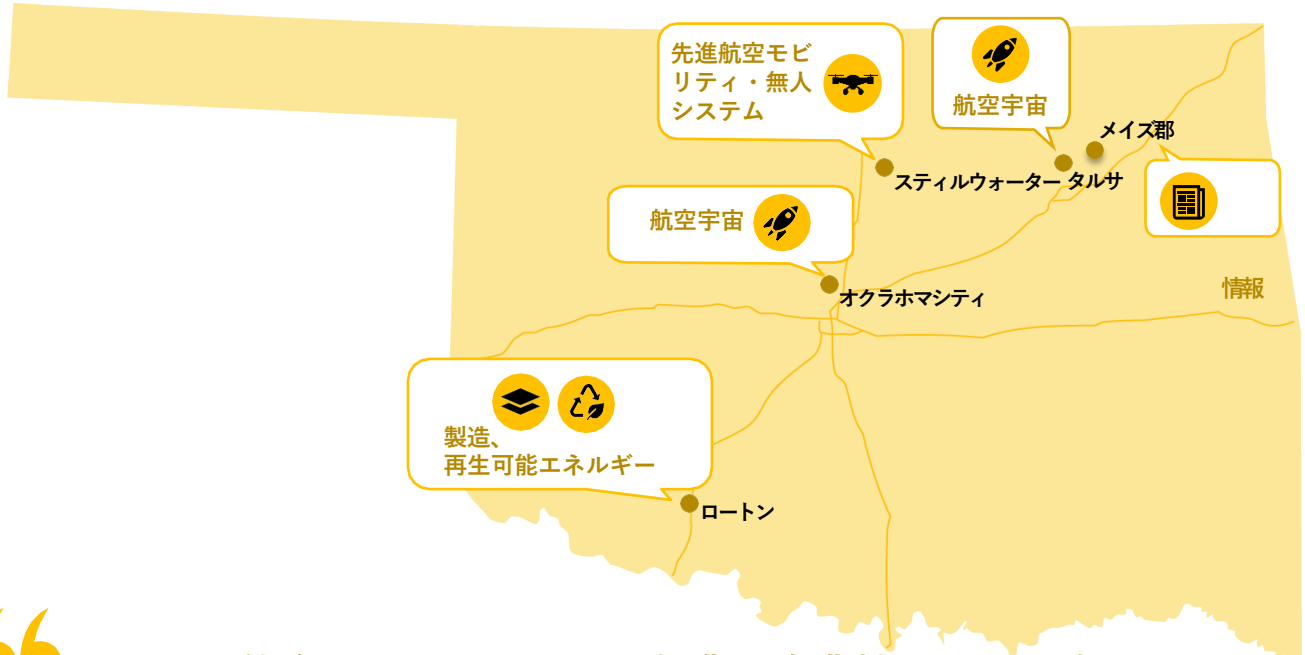
Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

経済－主要産業
Major Industries

オクラホマ州の主要産業には航空宇宙・防衛、バイオサイエンス、再生可能エネルギー、輸送・物流などがある。州内には世界最大の国防総省整備・修理・オーバーホール（MRO）施設がある。

オクラホマシティ（Oklahoma City）中心部に位置するティンカー空軍基地（Tinker Air Force Base）には、世界最大規模の航空機整備施設があり、タルサ（Tulsa）北東には世界最大級の民間航空機整備施設がある。メイズ郡（Mayes County）にはグーグル（Google）の世界で2番目に大きいデータセンターがある。

州南西部にはグッドイヤー（Goodyear Tire and Rubber Company）のグローバル拠点の中で最大の工場があるほか、近隣地域に州内最大の風力発電所であるブルーキャニオン・ウィンドファーム（Blue Canyon Wind Farm）がある。

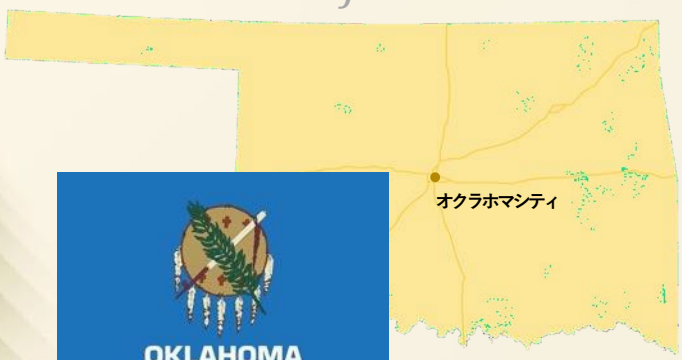


> 私たちの使命は、オクラホマを起業と事業拡大が最も容易な州にすることだ。

2024年2月
オクラホマ州　ケビン・スティット知事
オクラホマ州一般教書演説

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

経済－主要産業
Major Industries



オクラホマ州旗

航空宇宙・防衛

先進航空モビリティ・無人システム

アグリビジネス

自動車

バイオサイエンス

映画・音楽

情報・金融サービス

製造

従来型エネルギー

再生可能・新エネルギー

輸送・物流

オクラホマ州を代表する主要産業には、①航空宇宙・防衛、②先進航空モビリティ・無人システム、③農業ビジネス、④自動車、⑤バイオサイエンス、⑥映画・音楽、⑦情報・金融サービス、⑧製造、⑨従来型エネルギー、⑩再生可能・新エネルギー、⑪輸送・物流等がある。

なお、主要産業の記載に当たっては、オクラホマ州商務省（Oklahoma Department of Commerce）のウェブサイト及び資料を参考に作成した。既に高い競争力を有する産業の他、今後の成長を見込む産業も含まれている。

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

経済－主要産業
Major Industries

航空宇宙・防衛 *Aerospace and Defense*

オクラホマ州は航空宇宙・防衛産業において強い影響力を持つ。世界最大規模の整備・修理・オーバーホール（MRO）施設が2つあり、製造業者やMROプロバイダー、研究開発機関、軍事施設を含む1,100以上の企業・組織による強固なエコシステムを形成している。州内には、5カ所の軍事施設や2カ所の州空軍施設、オクラホマ宇宙港を含む多数の航空宇宙関連施設がある。

また、ジョージ・メイソン大学（George Mason University）のマーカタス・センター（Mercatus Center）がドローン産業への対応で全米第1位にランクされ、12万人以上が州内の航空宇宙・防衛産業に従事している。オクラホマ州の大学のうち9校が航空宇宙の学位と認定証を提供しており、マレー州立大学（Murray State College）では2024年秋学期から、米国唯一となる銃砲工の学士号の提供が認可された。

先進航空モビリティ・無人システム
Advanced Air Mobility & Unmanned Systems Sector

オクラホマ州は、大規模な施設や試験場で研究開発や製造などを行うことが可能となっており、革新を続ける無人システム産業にとって理想的な場所となっている。また、無人航空システムのニーズと課題に対処するための設備や人材を提供する最先端の研究大学もある。

さらに、州内には7カ所、総面積84万5,000エーカー（約3,420平方km）以上の試験場があり、新たな航空技術を安全に実験・検証することができる。

アグリビジネス *Agribusiness*

1910年に建てられた納屋：アーケイディア

オクラホマ州は農業が盛んで、3,400万エーカー（13万7,593平方km）を超える農地があり、農場数は全米4位となっている。同州の農家や牧場は、牛肉やキャノーラ、小麦、綿花、ライ麦などの多様な品目を生産している。特にライ麦の生産量は全米第2位で、2023年から2024年にかけて42%増産した。

州内の著名なアグリビジネス企業には、ネスレ・ピュリナ（Nestlé Purina）やミロズ・ティー（Milo's Tea）、タイソン・フーズ（Tyson Foods）、コーク・インダストリーズ（Koch Industries）、ハイランド・デイリーフーズ（Hiland Dairy Foods）、アーチャー・ダニエルズ・ミッドランド・カンパニー（Archer Daniels Midland Company）などがある。さらに同州は年間18億ドルの農産物を州外に販売し、米国内及び世界市場に食料を供給している。

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

経済－主要産業
Major Industries

自動車 *Automotive*

オクラホマ州の自動車産業は、戦略的な立地やビジネスフレンドリーな環境、強靭なインフラの恩恵を受け、同州経済に不可欠な要素となっている。

米国の中心部に位置するために物流効率がよく、南東部と中西部の両方の市場に容易にアクセスできる。

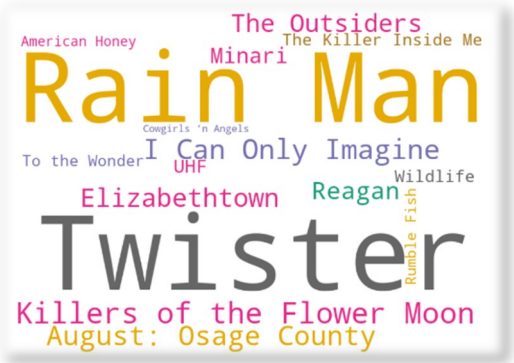
労働力開発では60のキャリアテックが専門教育を提供している。こうした利点を受けて、同州にはグッドイヤー（Goodyear Tire and Rubber Company）やヘニゲス・オートモーティブ（Henniges Automotive）、ニューウェル・コーチ（Newell Coach）、スポーツシャーシ（SportChassis）、北米リセオン（Lyseon North America）など、さまざまな自動車関連企業が進出している。

バイオサイエンス *Bioscience*

オクラホマ州は非常に恵まれたビジネス環境を誇り、事業コストの低さでは全米第2位、法人税の低さでは全米第4位となっており、州内のバイオテクノロジー企業や公的研究機関は、先端材料や界面活性剤開発、顕微鏡、医薬品開発、ヘルスケアなどの分野で先駆的な研究開発を行っている。この分野の雇用者数は18万人を超え、研究者数は2010年以降41%増加している。

主な研究施設としては、40社以上の科学系企業に70万平方フィート（約6万5,00平方メートル）以上の近代的な研究室やオフィススペースを提供するユニバーシティ・リサーチパーク（University Research Park）や、300人以上の研究者がアルツハイマー病やがん、糖尿病などに取り組んでいるオクラホマ医学研究財団（Oklahoma Medical Research Foundation: OMRF）などがある。

映画・音楽 *Film & Music*



オクラホマで撮影された映画の代表例
（文字の大きさは興行収入に比例）

米国の中心に位置するオクラホマ州の立地や多彩な風景、プロフェッショナルな労働力、低い生活費とビジネスコストは、映画やテレビ、音楽産業にとっても魅力となっている。州内での製作日数は、2021年7月1日から2023年6月30日までに延べ1,561日を数え、2022年度のポストプロダクション支出は2020年度比で倍増した。

2021年には、全米で最も大きな映画関連のインセンティブである「オクラホマ撮影法（Filmed in Oklahoma Act）」を制定。プロダクションは最大30%（基本の20%と追加分）の現金リベートを受け取ることができる。追加分は、地域や小規模自治体での活動、オクラホマ州の音楽ステージの使用、テレビ制作と複数の映画の契約、オクラホマの音楽の使用を含むオクラホマ州でのポストプロダクション作業などによって認定される。

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

経済－主要産業
Major Industries

情報・金融サービス *Information and Financial Services*

オクラホマシティーのビル街

オクラホマ州には、数十の企業データセンターに加え、16のコロケーション・データセンターがある。州内のキャリア・テクノロジー・センターはサイバーセキュリティと情報セキュリティの資格プログラムを提供し、10の教育機関が情報セキュリティの学位を提供している。州の産業用電気料金は、全国平均の電力小売価格より20～30%低くなっている。オクラホマ州に投資している主要企業にはグーグル（Google）があり、投資額は2019年に30億ドルを突破した。同社の世界で2番目に大きいデータセンターが州北東部のプライヤー（Pryor）にある。また、オクラホマシティ（Oklahoma City）に本社を置くクラウドベースの人事管理ソフトウェアの大手プロバイダー、ペイコム・ソフトウェア（Paycom Software）は、Fortune誌の2019年急成長企業100社リストで第6位に選ばれた。その他の情報・金融サービス企業には、AT&T、DXCテクノロジー（DXC Technology）、日立、IBM、ベライゾン（Verizon）がある。

製造 *Manufacturing*

オクラホマ州は米国の中央部に位置し、交通機関が発達しているため、低コストでの物資供給や製品流通が可能となっている。加工食品や航空宇宙、パイプ・プラスチックに至るまで、4,200社以上の製造業者が州内に拠点を置き、2017年の製造業輸出は対2016年比で6.5%増加した。州内には、世界最大の国防総省航空基地と民間航空会社の整備・修理・オーバーホール（MRO）施設があり、ロートン（Lawton）にあるグッドイヤー（Goodyear Tire and Rubber Company）のタイヤ工場は、同社の北米最大の製造施設である。また、28の大学が製造技術者関連のプログラムを提供している。

従来型エネルギー *Traditional Energy*

オクラホマ州は125年にわたって従来型エネルギー産業のリーダーとなっており、既存のエネルギー・システムの最適化や天然資源の最大限の活用、熟練労働力の継続的な供給に注力している。州内には製油所が5カ所あり、合計で全米の約3%、日量50万バレルの精製能力がある。

クッシング（Cushing）には世界最大の石油貯蔵施設があり、また、天然ガスの生産量は全米で第3位となっている。オクラホマ州を本拠地とするエネルギー大手には、エクスパンド・エナジー（Expand Energy Corporation）やデボン・エナジー（Devon Energy）、GEオイル・アンド・ガス（GE Oil & Gas）、ハリバートン・エナジーサービス（Halliburton Energy Services）、シュルンベルジェ・テクノロジー（Schlumberger Technology）などがある。

クッシング石油貯蔵施設

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

経済－主要産業
Major Industries

再生可能・新エネルギー *Renewable & New Energies*

オクラホマ州のエネルギー産業は、従来型エネルギーにとどまらず、地熱、太陽光、風力、直接空気回収・炭素隔離、利用、貯蔵に拡大している。州のエネルギー生産量は消費量を61%上回り、総発電の47%は再生可能エネルギー由来となっている。

エネルギーコストは全米平均より17%低く、風力、太陽光、水力、地熱、バイオディーゼルを含む再生可能エネルギーの総生産量は全米3位、再生可能資源による純発電量は全米4位となっている。

輸送・物流 *Transportation and Logistics*

オクラホマ州には、4つの内陸港や全長3,850マイル（約6,200km）の鉄道網、全長1万2,000マイル（約1万 9,000km）の高速道路網があり、アマゾン（Amazon）やダラーツリー（Dollar Tree）、メーシーズ（Macy's）などの物流業務や配送センターのハブとなっている。

現在5万6,000人以上が州内の運輸部門で雇用され、1日あたり600台以上のトラックが州内の高速道路を走り、800マイル（約1,280km）圏内の26の主要都市に商品を届けている。また、キャリア・テクノロジー・センターが、輸送・流通・物流分野のキャリアコースを提供している。州内の流通・物流企業には、コカ・コーラ（Coca-Cola）やコストコ（Costco）、フリトレー（Frito-Lay）、ゼネラル・ミルズ（General Mills）、ジョージア・パシフィック（Georgia-Pacific）、ホビー・ロビー（Hobby Lobby）、ジャスコ・プロダクツ（Jasco Products）、メイシーズ（Macy’s）、ペプシ・ボトリング（Pepsi Bottling）、ウォルマート（Walmart）などがある。

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

経済－企業

Major Companies

オクラホマ州の事業所数、マイノリティ所有事業所数、退役軍人所有事業所数（2022年）

事業所の種類	総数
事業所	68,131
マイノリティ所有事業所	11,809（事業所数比17.3%）
退役軍人所有事業所	4,091（事業所数比6.0%）

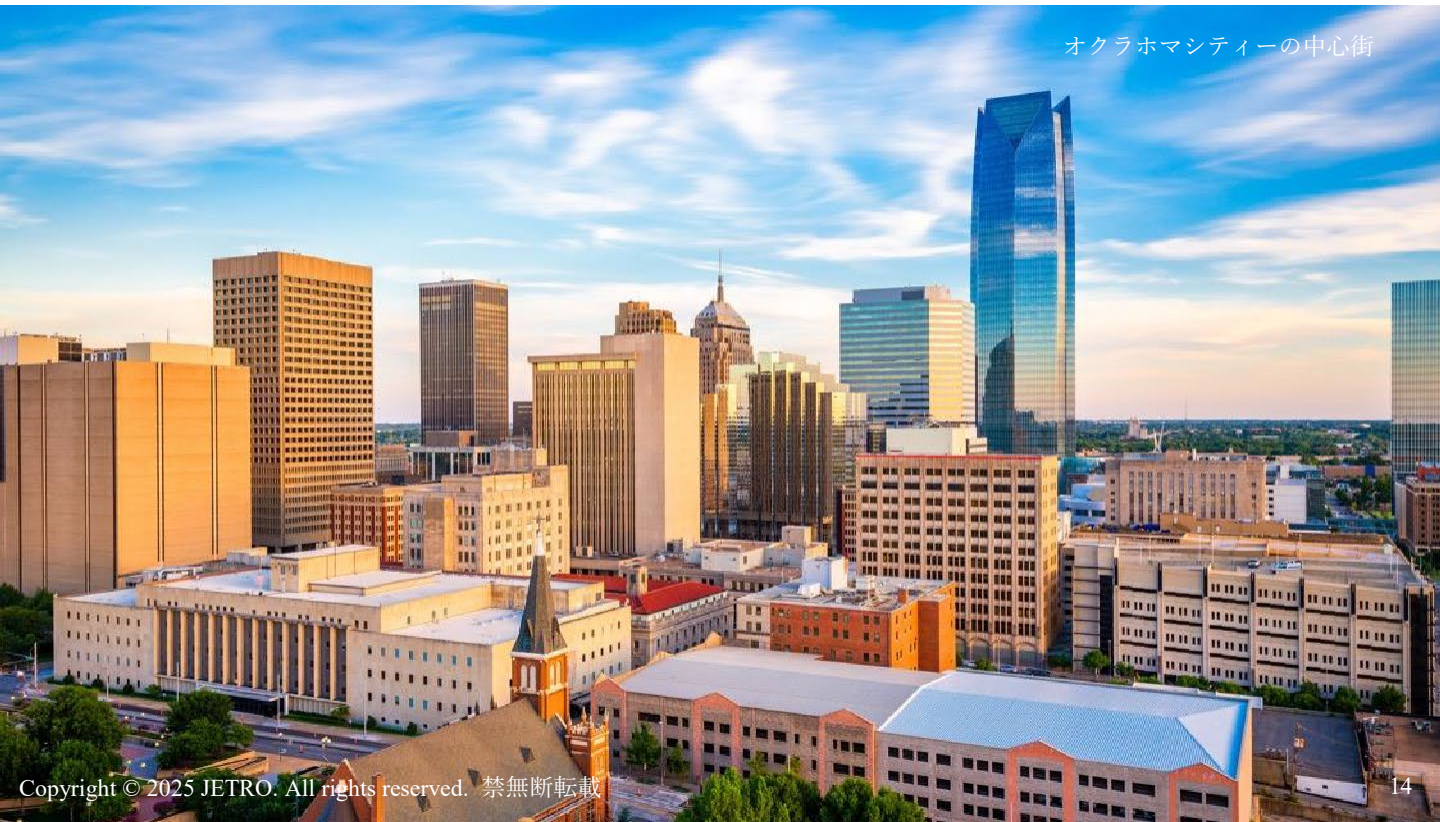
データ：米国国勢調査局

オクラホマ州に本社を置くFortune 500企業（2024年）

順位	企業名	本社	業種	売上*（億ドル）
232	ワンオーク（Oneok）	タルサ（Tulsa）	パイプライン	176.8
271	デボン・エナジー（Devon Energy）	オクラホマシティ（Oklahoma City）	鉱業、原油生産	152.8
371	ウィリアムズ（Williams）	タルサ（Tulsa）	パイプライン	109.1
439	コンチネンタル・リソース（Continental Resources）	オクラホマシティ（Oklahoma City）	鉱業、原油生産	87.3
440	エクスパンド・エナジー（Expand Energy Corporation）	オクラホマシティ（Oklahoma City）	鉱業、原油生産	87.2
442	NGLエナジー・パートナーズ（NGL Energy Partners）	タルサ（Tulsa）	パイプライン	87.0

*注：売上は前会計年度（Last Fiscal Year）の数値

出典：Fortune発表を基に作成



オクラホマシティーの中心街

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

投資インセンティブ
Investment Incentives

オクラホマ州政府の主な投資インセンティブ（2025年3月時点）

インセンティブ	概要
良質な雇用プログラム（Quality Jobs Program）	雇用促進のための制度で、新規給与額の5%を上限に、最長10年間、四半期ごとにキャッシュリベートを行う。受給条件は、企業が3年以内に平均賃金の基準を満たし、新規年間給与の総額250万ドルを達成することと、従業員に健康保険を提供することなど。
小規模雇用主良質な雇用プログラム（Small Employer Quality Jobs Program）	従業員500人以下の中小企業を対象に、新たに課税対象となる給与総額の最大5%を、最長7年間、四半期ごとに支給する。受給条件は、郡の平均賃金の年間給与110%以上を達成し、最初の2年間は州外の売上高を35%以上、それ以降は60%以上達を成すること。
21世紀良質な雇用プログラム（21st Century Quality Jobs Program）	高度なスキルと知識を持つ人材を有する企業を対象に、新規給与額の10%を上限として、最長10年間、還付する。対象の産業分野は、製造、研究、倉庫・物流、航空、飛行訓練サービス、風力発電設備の修理・管理など。州外の売上が求められる産業については、州外の売上達成条件を75%から50%に引き下げ、郡の平均賃金の300%以上となる正社員10人を雇用することが条件 。
良質な雇用 + 投資税額控除（Quality Jobs + Investment Tax Credits）	製造業を対象に、価償却資産への投資額の2%、あるいは新規雇用1名あたり年間1,000ドルのいずれか高い方を5年間控除する。企業は、最低4,000万ドルの資本投資を行い、州平均以上の給与の新規雇用を創出することが条件。
地方雇用法（Rural Jobs Act）	地方中小企業への投資を促進するための「地方基金（Rural Fund）」へ、企業が投資する額に応じて税額を控除する。税額控除の対象となる資本投資額2,000万ドルのうち、少なくとも10%にあたる200万ドルは、承認された地方ファンドの取締役、メンバー、従業員、役員、関連会社を含む資金源から調達する必要がある。
投資 / 新しい雇用パッケージ（Investment / New Jobs Package）	製造業を対象に、不動産への投資あるいは雇用増加の、いずれかに基づいて5年間、州税を控除する。新規償却資産への投資額年率1%（最小投資額5万ドル）、あるいは製造・加工・航空機整備に従事する常勤従業員の新規雇用1人当たり500ドルのうち、大きい額を対象とする。経済的に困窮する地域「エンタープライズ・ゾーン」に企業が所在する場合や、投資額4,000万ドル以上の場合は、投資額または雇用1人当たり1,000ドルに対し、控除額が年率2%に倍増する。
事業拡大インセンティブプログラム（Business Expansion Incentive Program）	製造業の雇用創出や、建物や機械などの設備投資を対象に、現金で助成金を年間支給する。一般的に、200万ドル以上の投資を行う、あるいは既存の年間給与が200万ドル以上であることが受給条件。
自動車産業エンジニア雇用税控除（Automotive Engineer Workforce Tax Credit）	自動車産業を対象に、新規にエンジニアを雇用する際、エンジニアに支払われる報酬の5%を、法人所得税より控除する。エンジニアが州内の大学を卒業している場合は10%（最大年間1万2,500ドル）、さらに授業料を企業負担（立替）とする際は授業料の50%を上限として、税額を控除する。雇用されたエンジニア自身も5年間、年間5,000ドルの税額控除を受けられる。
ソフトウェア・サイバーセキュリティ雇用税控除（Software/Cybersecurity Workforce Tax Credit）	サイバーセキュリティまたはソフトウェアの従業員を対象に、最大7年間、認定教育機関で学位を取得した場合は年間最大2,200ドル、州認定のテクノロジーセンターで修了証を取得した場合は年間最大1,800ドルの、税額を控除する。

経済開発組織・商工会議所

地域	経済開発組織	商工会議所
オクラホマ州（Oklahoma State）	オクラホマ州商務省（Oklahoma Department of Commerce）	オクラホマ州商工会議所（State Chamber of Oklahoma）
オクラホマシティ（Oklahoma City）	オクラホマ市経済開発部（Oklahoma City Department of Economic Development）	グレーター・オクラホマシティ商工会議所（Greater Oklahoma City Chamber of Commerce）
	グレーター・オクラホマシティ商工会議所経済開発部門（Greater Oklahoma City Chamber Economic Development）	オクラホマシティ経済開発アライアンス（Alliance for Economic Development of Oklahoma City）
タルサ（Tulsa）	タルサ市経済開発部門（City of Tulsa Economic Development）	タルサ商工会議所（Tulsa Regional Chamber）
	タルサ地域商工会議所 経済開発部門「タルサズ・フューチャー」（Tulsa Regional Chamber Economic Development, “Tulsa’s Future”）	
	パートナー・タルサ（Partner Tulsa）	

出典：各組織のウェブサイト

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

高等教育／特許
Higher Education / Patent

主要大学

U.S.News & World Reportの2025年大学ランキングにおいて、オクラホマ州で上位に入った大学は次の通り。

大学	順位
オクラホマ大学（University of Oklahoma, ノーマン Norman）	132位
タルサ大学（University of Tulsa, タルサ Tulsa）	179位
オクラホマ州立大学（Oklahoma State University, スティルウォーター Stillwater）	196位
オクラホマシティ大学（Oklahoma City University, オクラホマシティ Oklahoma City）	296位

出典：U.S.News & World Report 2025を基に作成

オクラホマ大学

オクラホマ大学は1890年に設立された公立の総合大学で、愛称はOU（オーユー）。オクラホマ州ノーマン、オクラホマシティ、タルサの3つのキャンパスを持つ。学生数は3万1,000人以上で、170以上の学術プログラムを提供している。カーネギー財団から「最高研究活動」機関に指定され、研究費は年間4億1,660万ドルに達する。

マイケル・F・プライス経営大学院（Michael F. Price College of Business）、法科大学院、医科大学院、工科大学院など、大学院プログラムも充実している。

また、アスレチックチームのOUスーナーズ（OU Sooners）は、フットボールやバスケットボールなど幅広いスポーツ分野で、全米大学リーグの強豪として知られている。

オクラホマ大学

タルサ大学

タルサ大学は1894年に設立された私立大学で、タルサのダウンタウン近くにキャンパスがある。石油工学分野は、 私立大学としては1位、全米の大学では4位にランクインしており、年平均500万ドルの研究費を確保している。

卒業後6ヶ月以内に95%が就職、初任給は約9万ドルとなっていて、業界内での更なるキャリアアップを見込むことができる。

また、タルサ市は石油業界だけでなく、多様な産業が発展し、学生には豊富なインターンシップと就業の機会が提供されている。

タルサ大学

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

高等教育／特許
Higher Education / Patent

コミュニティカレッジ

オクラホマ州コミュニティカレッジ協会（Oklahoma Association of Community College：OACC）は、オクラホマ州にある2年制コミュニティカレッジ12校で構成されている。オクラホマ州のコミュニティカレッジは、高校卒業者や成人に対して質の高い教育プログラムを提供しているほか、産業界との連携による人材開発も進めている。例えば、オクラホマシティ・コミュニティカレッジ（Oklahoma City Community College：OCCC）は2024年、メルセデスベンツUSAと提携し、自動車技術者インターンシッププログラムにメルセデスベンツ独自のカリキュラムを統合したMBCampusプログラムを開始した。この提携により学生は工場独自の認定を取得することが可能で、オクラホマ州内のメルセデスベンツのサービスセンターで活躍するために必要な知識やスキルを習得することができる。

また、ローズステート・カレッジ（Rose State College）は2019年、オクラホマ製造業者連合（Oklahoma Manufacturing Alliance）と提携し、協働ロボットの訓練プログラムの開始を発表した。協働ロボットを活用することで、工場の作業員とロボットが共通の空間で作業を効率的にできるようになると期待されている。

特許

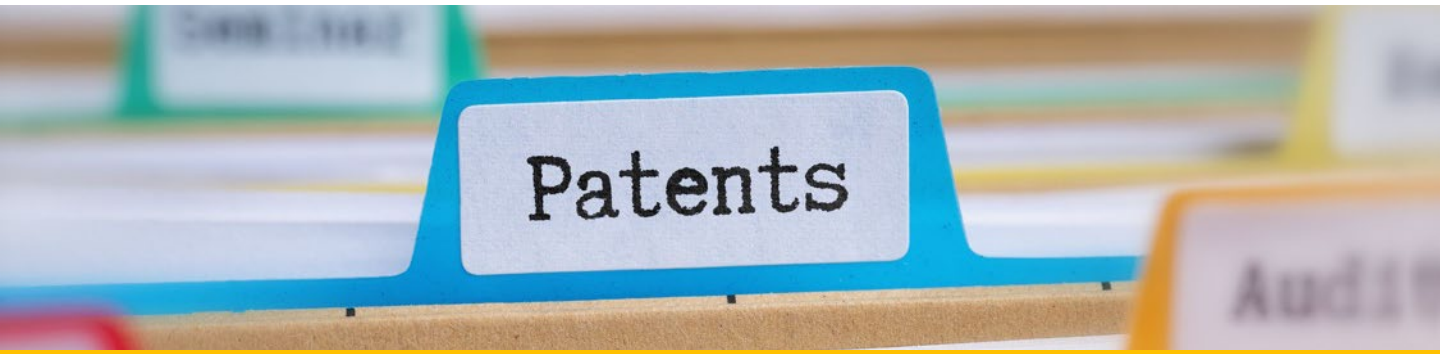
オクラホマ州の2020年における特許取得件数は689件であった。

同州では、スティルウォーターにあるオクラホマ州立大学のエドモン・ロウ図書館（Edmon Low Library）が、米国特許商標庁の特許商標リソースセンター（Patent and Trademark Resource Centers：PTRC）に指定されており、特許取得に関する情報 を提供する専門スタッフが配備されている。

オクラホマ州の米国特許取得件数（2020年1月1日～12月31日）

地域	特許取得件数
オクラホマ州	689
米国合計	183,147
海外からの取得	205,714

データ：米国特許商標庁



Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

スタートアップ
Startups

ベンチャーキャピタル（VC）	概要
Acorn Growth Companies（オクラホマシティ）	航空宇宙、防衛、情報、宇宙の分野に投資する。投資金額は3,000万～2億ドル。
Plains Ventures（オクラホマシティ、タルサ）	i2E（下記参照）と提携して、プレシード、シード、シリーズAステージに投資する。投資額は25万~100万ドル。
Argonaut Private Equity（タルサ）	製造業、物流、サービス業の分野を対象に、年間収益2,000万~3億ドル以上の企業に投資する。米国中部に本社を構える企業や、米国内の未開拓市場も対象とする。2004年設立。
Oklahoma Life Science Fund（タルサ）	州内あるいは近隣州に所在する、アーリーステージの医療・ライフサイエンス系企業対象のファンド。治療薬、医療機器、診断、技術活用サービスなど、医療・ライフサイエンスの分野において幅広く投資する。2000年設立。

インキュベーター・アクセラレーター	概要
Innovation to Enterprise (i2E)（オクラホマシティ、タルサ）	オクラホマ州科学技術発展センター（OCAST）の支援を受ける非営利組織。スタートアップ向けの6～16週間のプログラムでは、オンライン学習やセミナー、専門家による相談などを提供し、修了後には資金調達なども支援。プレシード向け「概念実証ファンド」や、アーリーステージ企業向け投資も行う。 ※上記Plains Venturesも参照
gener8tor Oklahoma City Accelerator（オクラホマシティ）	州内所在の企業や農業テック・バイオテック・ライフサイエンス・エネルギー源多様化の分野を対象に、1期8社限定で、12週間のプログラムと、10万ドルの資金を提供する。
Oklahoma Center for the Advancement of Science and Technology（オクラホマ州科学技術発展センター、OCAST）（オクラホマシティ）	OCASTは、州のテクノロジー関連経済開発団体として連邦や州の助成金を所轄し、州内の起業家、中小企業、研究者、製造業、STEM教育など、幅広く支援する。関連団体： • i2E：上記参照 • Oklahoma Commercialization Network（OCN）：州所在のテック系スタートアップ企業を対象に、貸事務所、メンタリング、ネットワーキングなど、一連のリソースを提供する。OCASTにより設立、i2Eにより運営され、Gradient、The Verge、REI Oklahomaなど25団体と提携する。 • OK Catalyst：中小企業対象の連邦助成金の申請・受給を支援する機関。 • Build in Tulsa Techstars Accelerator：対面型で、3カ月間のプログラムを提供。米国内で15ヶ所プログラムを展開するほか、欧州、中東、アフリカ、アジア、オセアニアで展開。
Thunder Launch Pad、StichCrew（オクラホマシティ）	全米プロバスケットボール（NBA）のオクラホマシティ・サンダーが設立した、起業家と中小企業支援機関。グーグル（Google）が支援する「INNOVATION LAB」や、貸事務所・コワーキングスペース・会議室などがある。 同市内にあるアクセラレーター「StichCrew」と連携して、中小企業、女性やマイノリティ企業の支援プログラムを提供する。
OU Tom Love Innovation Hub（ノーマン）	オクラホマ大学設立のイノベーション・ハブとして、同校の学生・教職員のほか、州内や地域の企業を対象に、様々な団体と提携したプログラムを提供する。ものづくりのための施設「Fabrication Lab」は、一般にも公開されている。
OSU Cowboy Enterprises（Office of Technology Commercialization（OTC）、Cowboy Innovations Accelerator、Cowboy Technologies）（スティルウォーター）	オクラホマ州立大学のイノベーション関連経済開発部門で、同校内部の技術開発と商業化を支援する。 • Office of Technology Commercialization（OTC）：同校の知的財産権の取得や管理、保護を行う。 • Cowboy Innovations Accelerator：エネルギー、航空宇宙、先端モビリティ、農業、ワンヘルスなどイノベーション関連の技術開発促進や商業化を支援。 • App Center：モバイルアプリ開発と商業化を支援。 • Cowboy Technologies：同校内部の技術開発プロジェクトや、同校に在籍・関連するスタートアップ対象のVC。

出典：各組織のウェブサイト

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

ライフスタイル
Lifestyle

生活基本データ（調査期間：2019～23年）

生活基本データ	オクラホマ州	米国全体
世帯所得（中央値、ドル）	63,603	78,538
住宅価格（中央値、ドル）	185,000	303,400
家賃（中央値、ドル）	980	1,348
持ち家率（%）	65.8%	65.0%

データ：米国国勢調査局

人気居住エリア

オクラホマシティ郊外にあるエドモンド(Edmond)は、質の高い公立学校や物件が多くあり、家族向けの住みやすい場所として人気が高い。また、タルサ郊外にあるジェンクス（Jenks）も、優れた教育システムで家族向けの地域として高い評価を得ている。

日本関係コミュニティ

オクラホマ州には、オクラホマ日米協会（Japan America Society of Oklahoma：JASO）や、アジア人のコミュニティであるオクラホマ・アジア協会（Asia Society of Oklahoma：ASO）がある。オクラホマ州には日本語補習校はないが、日米協会やオクラホマ市コミュニティカレッジ（Oklahoma City Community College）など一部の大学が日本語のプログラムを提供している。

タルサのルート66ゲート

交通

米国国勢調査局によると、2023年のオクラホマ州の16歳以上の住民の通勤手段は、78.7%が車、トラック、またはバンで単独で運転、9.42%が相乗りだった。0.28%が公共交通機関（タクシーを除く）を利用し、1.7%が徒歩だった。平均通勤時間は22.4分で、全米平均の26.6分より約4分短かった。

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

ライフスタイル
Lifestyle

オクラホマ州は、オクラホマシティやタルサのように都市部がある一方で、湖、川、州立公園などの自然にも恵まれている。

自然公園

タルサのダウンタウンにあるギャザリング・プレイス（Gathering Place）、グレート・ソルト・プレインズ州立公園（Great Salt Plains State Park）、ナチュラル・フォールズ州立公園（Natural Falls State Park）、チカソー国立保養地（Chickasaw National Recreation Area）、ビーバース・ベンド州立公園（Beavers Bend State Park）、ウィチタマウンテン野生保護区（Wichita Mountains Wildlife Refuge）など。

ギャザリング・プレイス

博物館／美術館

オクラホマシティのカウボーイ・西部歴史博物館（National Cowboy & Western Heritage Museum）や、オクラホマ科学博物館（Science Museum Oklahoma）、オクラホマシティ国立記念博物館（Oklahoma City National Memorial & Museum）、タルサのフィルブルック美術館（Philbrook Museum of Art）など。

グレート・ソルト・プレインズ州立公園

スポーツチーム

メジャープロスポーツチームにはオクラホマシティ・サンダー（Oklahoma City Thunder：NBA）やオクラホマシティ・コメッツ（Oklahoma City Comets：MLBロサンゼルス・ドジャースのトリプルA傘下チーム）がある。地元住民には、オクラホマ大学のOUスーナーズ（OU Sooners）や、オクラホマ州立大学のOSUカウボーイズ（OSU Cowboys）のアメリカンフットボールチームの人気が高い。

住民気質

オクラホマ州の人々は親しみやすく、おおらかで親切な性格で知られている。2023年の旅行者による評価では、オクラホマ州は全米で第9位の親切な州に選ばれ、ハワイよりも上位にランクインした。州都オクラホマシティは、その親切な住民気質から「The Big Friendly（親切な大都市）」と呼ばれている。オクラホマ州の住民の信教は、キリスト教が70%、無宗教26%、その他2%（出典：ピュー・リサーチ・センター）。キリスト教信者のうち南部バプテスト派の割合は、全米と比較して7倍高い（出典：オクラホマ歴史協会）。

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved. 禁無断転載

ジェトロ・ヒューストン事務所
1221 McKinney Street, Suite 4141,
Houston, Texas 77010, U.S.A.
E-mail: inqu-hou@jetro.go.jp

写真：引用記載が無いものはShutterstockの素材を基に作成。Images used under license of Washington CORE with Shutterstock.com.
制作協力 Washington CORE, L.L.C.